

フキ指導案

チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
2 年

1月18日(土) 2校時

国語「冬がいっぱい」(1/2)

本時のねらい

○冬を感じる言葉とそれにまつわる経験を思い出し、文章を書くことができる。

本時のこだわり！

○ミライシード（オクリンクプラス）を活用して、児童の考えを様々な形で共有化する。

（秋を見つけないという意欲を持たせる工夫）

	学習活動	指導・支援（○） 評価（☆）
	1. 絵を手掛かりに、秋に関する言葉を探す	「せんりょう」など、児童が知らないと思われるものは、図鑑や写真などを用意して実物を見せるようにする。
展開1（内容把握）	2. 教科書「ゆき」を音読する T.「ゆき」の詩の中に秋を感じる言葉はありましたか。 C.ゆき あられ かれき	○冬を感じる言葉を意識させた後で、もう一度音読させ、その言葉を意識させたい。
	3. めあての確認	○冬の言葉を見つけないという気持ちが高まったところで、めあてを確認する。
	【めあて】 冬をかんじることばを見つけよう。	
	4. 冬を感じる言葉を見つけたら、オクリンクプラスに付せんを貼っていく。 ①みんなと違う秋を見つけよう ②たくさん秋を見つけよう	○第2時でカードを書いて友達に紹介することをつたえる。 ○電子黒板を使って、リアルタイムに共有化を図り、友達の意見をヒントにさらに探していけるようにする。
	5. どんなものを見つけた時に、冬を感じるか発表し合う。	○見つけたこと、その時の気持ちを発表させる。 ○出てきた言葉を分類・整理して板書する。 ○季節がずれているものを書いている場合は、見た時期などを個別に確認する。 ○目で見えるものに限定せず、聞き声やにおいなど五感を働かせて季節を感じる言葉を探させる。
	6. 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ	○次時まで、秋を感じるものを見つけたら撮影しておくように伝える。

本時の評価

○言葉には事物の内容を表す働きがあることに気が付いている【発言・記述】

○身近なことを表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。【発言・記述】